Gandiリセラーガイド

2015年7月

はじめに 4

1.リセラーアカウント 5
1.1 使用用途 5
1.2 アカウントの作成 5
1.3 関連する契約および紛争解決 5
1.4 パークドメイン 6

2.Gandi とリセラーの顧客 7
2.1価格 7
2.2カスタマーサポート 7
2.3 Gandiからの通知 7
2.4 連絡先を解除する 8
2.5個人情報の収集 8

3. GandiのAPI 9
3.1 使い方 9
3.2 有効化、テスト、管理 9
3.3 ドキュメンテーション 9
3.4 サポート 10
3.5 SLA 10

4.ドメイン名管理 11
4.1 トップレベルドメイン名 (TLD) 11
4.1.1 TLDのタイプ 11
4.1.2 法人用TLD 11
4.1.3 TLDの制限 12
4.2ドメインの購入 12
4.3ドメインの転送 12
4.4ドメインの更新 13

5. 請求について 14
5.1 はじめに 14
5.2 支払い方法 14
5.3 請求書による支払い 14
5.4 返金 14

6.関連サービス 16

6.1 電子メール 16
6.1.1 メールボックス管理 16
6.1.2 メール転送サービス 16
6.1.3 メールパック 16
6.2 GandiのDNS 17
6.2.1 ゾーンファイル管理 17
6.2.2 Webフォワーディング 17
6.3 SSL証明書 17
6.4 Gandiホスティング 17

はじめに

リセラーアカウントには様々な用途があり、ご利用になる機能はビジネスの種類やサイズによって異なります。

小規模ビジネス
あなたが小規模ビジネスに従事している場合、年間でドメインの登録、移管および更新するドメインの数は限られているでしょう。コンサルティング、ウェブデザイン、プロモーション、または提供するサービスの一部として、顧客はあなた(リセラー)からドメインを購入します。

小規模ビジネスでは、GandiのAPIとつなげてウェブサイト上でのドメイン登録を自動化する必要はないかもしれません。代わりにリセラーアカウントを使用してGandiのウェブサイト上で登録の自動化のようなリクエストに対応することができます。ドメイン価格として適正だと考える範囲で、普段別ご自身のサービスに対して行っているように、ドメイン代を通常の請求やシステムを通して請求の中に含めて(オプションとして) 顧客に請求することができます。

既にご存知のプロセスの自動化は常に簡単に行えます。セクション1、2、および4で詳細を確認してください。SSL 証明書の提供がまだの場合は、セクション6で説明されているGandi SSL 認証局を通して行うことができます。セクション6では、リセラーからその顧客に設定できるサービスについての説明があるのでご確認ください。

大規模ビジネス
ビジネスの一環として多くのドメインを登録する場合は、プロセスを自動化することが不可欠です。上記のセクションに加えて、セクション3にあるAPIをご確認ください。

特に、管理しているポータルを通じて顧客がドメインを登録できるようにする場合は、そのポータルを介して契約を承諾し、Gandiのドメイン販売に必要な契約を作成するために必要な情報を記入させる必要があります。
上記は利用可能なAPIの呼び出しで自動化することができます。

法人顧客
マーケティング部門、法務サービス、または内部顧客のドメイン名を扱うIT企業のマネージャーである場合、ドメインの法的所有権が企業の観点と異なる場合でも、リセラーアカウントを持つことは有用です。Gandiのリセラーアカウント機能を使用して、内部顧客にドメインをITサービスとして提供することができます。 ドメインは顧客用に管理しているハンドルに起因するものでも、顧客が管理するアカウント (支払いはリセラー側) としてGandiのハンドルを作成することもできます。

セクション1とセクション4で説明されているように、リンクされたアカウントとドメインに割り当てられた連絡先の管理方法の違いについてご確認ください。セクション3で説明されているAPIを使用して、ドメイン名のプロビジョニングとサービスカタログ内でのホスティングを自動化できます。

1.リセラーアカウント

1.1 使用用途

リセラーアカウントを使用すると、次のことが可能になります。

□ 顧客のすべてのドメインを、シングル、プライマリ、アカウントのハンドルから確認

□ バルク転送ツールを使用して複数のドメイン名転送メールを同時に承認（この方法を使用するドメインの場合）

□ 顧客のドメインを作成しながら、各ドメインの所有者の連絡先を指定

□ 顧客に送られるGandiからのドメイン更新リマインダーメールを代わりに受信し、顧客が更新を管理する必要がないように管理

1.2 アカウントの作成

リセラーアカウントは、個人事業主を含む登記された会社によってのみ作成できます。以下の弊社のウェブサイトでリセラーアカウントを作成することができます。
https://www.gandi.net/contact/create

企業タイプ（または個人タイプ以外）のGandiアカウントを既にお持ちの場合は、それをリセラーアカウントに変更することができます。(変更後は通常のタイプに戻すことはできません)

参照
http://wiki.gandi.net/en/reseller/mode-reseller

顧客向けに作成したドメインの請求先は自動的にリセラーであるあなたになります。他のGandiハンドルに所有されているドメインにとって、Gandiハンドルは請求や管理、または技術的な問い合わせ先となることもできます。これらの連絡先となることで、ドメインを部分的に管理する権限を持つことになります。

参照
http://wiki.gandi.net/en/contacts

1.3 関連する契約および紛争解決

リセラーとして、Gandiの一般販売条件（https://www.gandi.net/contracts/en/g2/pdf）、および一般リセラー販売条件（https://www.gandi.net/contracts/en/reseller/pdf）に同意する必要がありま

す。

また、ドメイン名の管理の技術提供者としてGandiを使用していることを契約書に明記しておく必要があります（これはICANNから課されている契約上の要件です）。GandiはICANN認定レジストラとして記録上残ります。Webサイトやその他資料などでリセラーがこれを宣言してはいけません。

また、リセラー契約では顧客のドメイン名に関する要望に対して適切に対応する責任があることにご留意ください。問題が解決しない場合は、リセラー販売条件に従いGandiのサポートデスクに連絡してください。

Gandiは第三者間の紛争においてレジストラの関与を必要とする、全てのケースに対応する法務部門を有しています。大抵の場合、法的問題は <legal@gandi.net>に調査と対応のために転送することができます。法的要求に対応する際は、非常に注意深く厳正に適正手続きに従います。

また、Gandiはその顧客との間に発生した紛争に対応する迷惑行為等の報告窓口を設けています。(例: ハッカー、スパマー、登録時の詐称行為等)

1.4 パークドメイン

顧客のために購入し未使用になっているドメインは、デフォルトのページか「工事中」ページが表示されています。「工事中」ページではGandiのデフォルトページを表示させる必要はなく、何を表示させても構いません。実際作成した自社デザインの「工事中」ページをホストし、GandiのDNSにあるゾーンファイルを使って独自のページに向けることができます。

特定のドメインにはコンテンツの制限があるので、該当のTLDの要件に必ず従ってください。 こちらについてご質問がありましたらお知らせください。

2.Gandiとリセラーの顧客

2.1価格

ドメイン名は、ドメイン名単体もしくは他のサービスや製品とパッケージとしてドメイン名を販売するときには好きな価格で販売して構いません。セクション5でGandiがリセラーへの請求方法について説明します。

Gandiから価格について大きな変更があった場合にはお知らせするようにしますが、リセラーの販売時の価格が変更になった場合にはGandiに変更について知らせる必要はありません。

リセラーにお支払いいただく料金は以下のURLからご確認できます。
https://www.gandi.net/domain/price/info

料金ページはログイン後に各リセラーに合った価格に調整されます。また、APIを介して価格情報を入手することもできます（セクション3を参照）。

2.2カスタマーサポート

リセラー契約では、リセラーからその顧客に基本的なカスタマーサポートを提供する必要があります。 顧客がGandiのサポートチームに直接連絡を取った場合は、顧客にはリセラーに連絡を取るようにお知らせします。

Gandiから顧客に連絡ができるように、リセラーアカウントの連絡先データを最新の状態に保つようにしてください。リセラーはメールやチャット、電話でGandiのTier 2サポートデスクと直接連絡をとることができます。電話とチャットのサポートは週末には限られていることにご注意ください。

2.3 Gandiからの通知

混乱を避けるため、一般的にはリセラーの顧客に直接メールを送信しませんが、システムから自動的に特定のメッセージが送信されることがあります。また、Gandiの受託機関(trustee-authority)との契約上レジストラの責任として、折に触れて特定のメッセージを送信する場合があります。

例えば、2014年1月1日の時点では、ICANNスポンサーシップの下で新しいgTLDドメインを購入するすべての顧客のメールアドレスを確認する必要があります。Gandiがこのメールの発信者であり返信先である必要があります。

顧客への自動送信メールのいくつかをリセラー用にカスタマイズすることができます。該当のメール次第で、リセラーのメールアドレスを送信元として指定したり、メールの署名をカスタマイズしたり、メールにリンクが挿入されたときにCNAMEレコードを作成して、URLにGandiの名前が表示されないようにすることもできます。

参照
http://wiki.gandi.net/en/reseller/notifications

以下のリンク先で、自動送信メールのカスタマイズを行うことができます。
https://www.gandi.net/admin/message/personalization

2.4 連絡先を解除する

必要に応じて、リセラーアカウントから顧客を解除することができます。 顧客との商業関係が終了した場合、顧客のアカウントハンドルまたはドメインを変更して、リセラーアカウントで管理しないようにすることができます。 これはアカウントからオンラインでも、GoogleのAPI経由でも可能です。

顧客は自動的にGandiの直接的な顧客になります。 この手順は、次のページのwikiに記載されています。
http://wiki.gandi.net/en/reseller/remove-domain

アカウントにアクセスするための手順のリリースを顧客に通知する必要があります。 ハンドル内の電子メールが正確で検証されていない限り、顧客のハンドルを解放しないでください。パスワードをリセットしてアクセスするために必要な指示を送信します。

2.5個人情報の収集

一般的にGandiはドメインを、そのドメインの所有者または登録者として（ICANN規則に従い）登録するために、顧客に関するいくつかのデータを収集する必要があります。

このデータはAPIコールを介して利用できますが、一般に他のユーザーは利用できません。

必須パラメータは次のとおりです。
□ 氏名
□ 住所
□ 郵便番号
□ 都道府県
□ 国
□ Eメール
□ 顧客アカウントのパスワード（リセラーによってアカウントが作成され、完全に管理されている場合を除く）
□ 電話番号
□ コンタクトタイプ（企業、個人）
一部のドメインでは追加情報も必要となります。

参照
http://doc.rpc.gandi.net/contact/reference.html#ExtraParameters

ドメインを登録するために必要な個人識別可能なデータは、Gandiに安全に送信する必要があります。 これは、API呼び出しを使用して暗号化されたチャネルで、またはHTTPSを使用

している当社のWebサイトで行うことができます。私たちのシステムでは匿名化されていません。 Gandiはこのデータをサービスの提供にのみ使用し、いかなる方法でもデータを販売せず、マーケティング目的でも使用していません（Gandiは他社のようなマーケティングを行いません）。 当社はTLD提案サービスのように、統計的追跡の目的で集計データを使用することがありますが、ICANNの規則または法的要件によって要求されない限り、開示しません。

3. GandiのAPI

3.1 使い方

Gandiの強力なAPIは、提供されているすべての機能（ドメイン名、SSL、電子メール、ホスティング）を独自のカスタマーポータルまたはWebアプリケーションに統合できるようにするメソッドで構成されていおり、いくつかの言語（PHP、Python、Java、ASP）で接続ライブラリを持つXML-RPCプロトコルを使用します。

参照
http://doc.rpc.gandi.net/overview.html

3.2 有効化、テスト、管理

APIの有効化と管理は、アカウントから直接オンラインで行われます。

この手順は以下のURLで説明されています。
http://wiki.gandi.net/en/xml-api/activate

GandiはOT＆Eテストプラットフォームとプロダクションプラットフォームを提供しています。 OT＆Eは顧客にアクセスさせずにドメイン名の作成と管理をテストできる「並列」ゾーンです。特定のレジストリでは、一時的な環境であり、時々リセットされることに注意してください。

3.3 ドキュメンテーション

私たちのAPIドキュメントは以下URLから入手できます。
http://doc.rpc.gandi.net

ドメイン名に使用できるすべてのメソッドをリストしているリファレンスドキュメントは以下のURLから入手できます。
http://doc.rpc.gandi.net/domain/reference.html

次のプロセス図を使用できます。
□ドメイン名の作成
□ドメイン名の転送
□ドメイン名の更新

3.4 サポート

APIメソッドを使用して機能を統合することに関してご不明な点がある場合は、APIサポートチームにご連絡ください。

メールアドレス: api-ote@support.gandi.net

3.5 SLA

Gandiはメンテナンス期間に必要な限度内でAPIエンドポイントの99.95%の稼働時間を保証し、いくつかのサードパーティ（例えば、レジストリ）と連携することによってこのサービスを提供していることにご注意ください。

したがって、事前に連絡があったレジストリメンテナンス時間について通知するためにあらゆる努力を行いますが、Gandiはこれらのサードパーティの稼働時間または関係するメンテナンス時間を保証することはできません。

これらの時間は、制限モードまたはデグレードモードの使用と同様に、通常、SLAの稼働時間として保証されません。

Gandiには以下のステータスページがあります。
http://status.gandi.net

このページでは、様々なサービスの稼働時間がトラッキングされ、障害についての情報のお知らせが表示されます。

4.ドメイン名管理

4.1 トップレベルドメイン名 (TLD)

Gandiでは非常に多数のTLDを購入して再販できるようにしており、常にリストに追加しています。新しいジェネリックトップレベルドメイン（gTLD）が日々作られており、当社も継続的にドメイン名登録の新たな機会を提供できるようにしています。

Gandi上で利用可能なトップレベルドメインを顧客に自由に再販して構いません。もしくは、貴社サービスや顧客に適したTLDを選ぶことも可能です。

4.1.1 TLDのタイプ

Gandiは現在、自動登録、転送、更新のために400以上のTLDを提供しています。特別な取り扱いが必要な多数の法人用TLDもあります（下記参照）。

資料作成時点では、いわゆる「ジェネリック」トップレベルドメイン (.com, .org, .immoasia, .club, .photography など) が頻繁にリリースされています。また、多くの国別コードトップレベルドメイン(.co.uk, .de, .us など)も利用でき、時折新しいものも追加されている状態です。

一般的に、ジェネリックTLDは登録と保守が容易であり、自動処理のサポートが増えています。費用や登録の難易度に基づいて、どのドメインを顧客に提供するかを判断したいと思うでしょう。

以下のURLからGandiが提供するすべての拡張機能のリストを見ることができます。
https://www.gandi.net/domain/register

4.1.2 法人用TLD

法人用TLDは、自動管理をすることができず、当社の専門スタッフが手動で操作する必要があるTLDです。

特に特定の場所や地域にドメインを登録するなど、特定の顧客には必要な場合があるため、この拡張機能を追加しました。

ただし、これらのTLDは大抵の場合、他のTLDよりも高価であることに注意してください。Gandiの法人向けオファーは担当部署が手作業で登録と管理操作を実行する必要があります。このタイプのTLDを提供する必要がある場合は、法人顧客でもリセラーになることができます。

参照
https://www.gandi.net/corporate

4.1.3 TLDの制限

特定のTLDには、特に所有者および/または管理者の連絡先の物理的な場所に関する前提条件があります。

国別コードトップレベルドメイン（ccTLD）の中には、特に法人に指定されているドメインの多くは該当する国に存在する必要があるものがあります。あるドメインは該当する地域(例えば、ロンドンなど) と関連している証拠が必要になります。

該当する地域に拠点があることの証明はGandiや委託関係を結んだ会社から提供することができます。法人ドメインの場合、このサービスには別途料金がかかりますので、ご連絡ください。お見積りを差し上げます。

他のタイプの制限もあり、TLD (例えば航空ドメインである .aero など) に依存します。
.aero は航空産業に直接関係があるドメインのために使われます。

特定の要件を持つTLDのリストを表示するには、下記のURLをご覧ください。
http://wiki.gandi.net/ja/reseller/domainrules

4.2ドメインの購入

販売代理店として、顧客のドメイン名を購入するときに、登録時にドメイン名の所有者として直接指定することができます。新しい連絡先を作成するか、既存のドメイン名を選択します。

リセラーアカウントからドメインを登録する方法の詳細については、以下のURLを参照してください。
http://wiki.gandi.net/ja/reseller/register

4.3ドメインの転送

ドメイン名をGandiに転送してドメインを統合したり、Gandiから他のレジストラに移ったりして、顧客の要求に応じてドメイン名を転送する可能性が高くなります。

Gandiは転送を容易にする強力なツールを提供します。リセラーとして、顧客に送信される譲渡確認メール(FOA)をパーソナライズすることもでき、Gandiに言及することを避けることもできます (契約上の義務を満たすため、技術提供者はGandiと記載しなければいけません)。

ドメイン名の作成と同様に、転送を開始するときに、Gandiハンドルを指定してドメインと関連付けることもできます。Gandiへの多数の転送がある場合は、提供するツールを使用して自動的に確認することができます。このツールを使用すると、各確認メールに個別に返信する必要がなくなります。

この手順の詳細については、以下のURLを参照してください。http://wiki.gandi.net/en/reseller/bulktransfer

4.4ドメインの更新

ドメインの更新はGandiで簡単に実行できます。契約に応じて手動で更新するドメインを選択したり、自動更新を設定することができます。自動更新では、前払いアカウントからの資金が使用されます。これには、オプションでアカウントに保存したクレジットカードから自動的に支払われます。

自動更新の場合、操作はドメインの有効期限の31日前に試行されます。

参照
http://wiki-support.mgt.gandi.net/billing/auto_renew

もしドメインが更新されていない場合は、有効期限の30日前、7日前、最後に1日後に顧客に電子メール通知が届きます。

様々なTLDの更新期間をまとめた表が以下URLにありますので、ご確認ください。
http://wiki.gandi.net/en/domains/renew#renewal_restoration_and_deletion_times

注意: 自動更新機能を使用するには、手続きのため支払いを完了する必要があり、更新後は払い戻すことができません。自動更新を含む顧客の未払いのリスクは、リセラーが負担しなければならず、リセラーは顧客の更新要求を拒否することはできません。

5. 請求について

5.1 はじめに

Gandiのドメインに支払う価格は、ハンドルの料金レートに応じて異なります。過去12か月間の購入総量に応じて、このレートは自動的に計算され、アカウントに記録されます。

価格体系については以下のURLからご覧ください。
http://wiki.gandi.net/en/billing/rate

開始時のレートは「A」と呼ばれ、最も有利なのは「E」レートです。購入時価格は、ハンドルに適用されるレートに応じて計算されます。大量の購入が予想される場合は、<reseller@gandi.net>までご連絡ください。お得な料金でご提供することができる可能性があります。

5.2 支払い方法

クレジットカード、PayPal、銀行振り込みを使ってリセラーから支払いを受け取り、フランスのリセラーに対しては小切手での支払いも受け付けています。これら全ての方法はプリペイドアカウントにクレジットを追加することもでき、同様に運用時にかかる費用の支払い(自動更新など) にも使用できます。

これにより支払い遅延の心配が軽減されます。プリペイドアカウント残高が一定の金額を下回った場合にアラートを受け取る可能性があります。また、アカウントに登録したクレジットカードから自動的に支払われるように、プリペイドアカウントを設定することもできます。

詳細は以下URLをご覧ください。
http://wiki.gandi.net/en/billing

5.3 請求書による支払い

Gandiの法人部門 (大口顧客向け)では、1年ごとのサービス利用料をお支払いいただく代わりに、月末の請求書支払いができるオプションを提供しています。法人向けサブスクリプションでは、法人向けサービス利用者に特別に用意されているドメインを登録することもできます。

このサービスを利用したい場合は、以下のオンラインフォームで法人チームにご連絡ください。
https://www.gandi.net/corporate/contact

5.4 返金

Gandiサイト側でエラーが発生した場合や、ポリシーで具体的に認められている場合に返金対応を行います。(例えば、SSL証明書は30日以内だと全額返金対象です)

一部の取引(例えば、ドメインの登録や大半のドメインの更新) は、該当の取引においてレジストリから返金不可な取引として請求されるので、一度完了すると返金はできません。

6.関連サービス

6.1 電子メール

無制限の電子メール転送アドレスとエイリアスに加え、1GBのストレージ容量があるドメイン名1つにつき、5つのメールボックスが無料で提供されます。

6.1.1 メールボックス管理

メールボックスは自由にカスタマイズすることができ、POPとIMAPの両方で利用できます。顧客の独自ドメイン利用のアドレスを提供することもできます。

ドメイン名毎に割り当てられた上限内で、それぞれのメールアドレスについてストレージの割り当てができます。もしくは、メールボックス全体にクォータを残しておくこともできます。

Gandi Mailの詳細については、こちらのURLを参照してください。http://wiki.gandi.net/en/mail

このサービスを顧客に提供する場合は、メールボックスとクォータを管理する必要があります。 つまり、リセラーがこのサービスを提供するドメインの管理者または技術者の連絡先になる必要があります。

6.1.2 メール転送サービス

あなたのアカウントの各ドメイン名には、無制限のメール転送アドレスがあります。これらのアドレスは、当社のウェブインターフェースまたはAPIを介して定義することができます。

詳細は以下URLからご確認ください。
http://wiki.gandi.net/en/mail/create-emailforward

6.1.3 メールパック

顧客のニーズが無料サービスで提供されているものを超える場合は、Aレートの顧客に対しては月額€1からのGandiのメールパックを購読することにより(VATを除く)、追加のメールボックスとストレージスペースをご利用いただけます。

パックの購読が完了すると、最大1,000ものメールボックスと1か月あたり1ユーロの追加ストレージが利用できます。メールパックのユーザーは、不在時の返信機能と特別な「like」エイリアスにアクセスできます。

メールパックの詳細については、以下のURLを御覧ください。
http://wiki.gandi.net/en/mail/mailpack

6.2 GandiのDNS

Gandiは世界中の要求を迅速に中継する、世界中のDNSインフラストラクチャ上で動作する信頼性の高い堅牢なDNSサービスを提供します。

6.2.1 ゾーンファイル管理

ゾーンファイルの管理は無料で、ユーザーフレンドリーなオンラインフォームを使用するか、エキスパートインターフェイスを使用するか、API経由で行うことができます。

詳細は以下URLからご確認ください。
http://wiki.gandi.net/en/dns

特定のゾーンを指定しない限り、GandiのDNSにインストールされているドメイン名の購入または転送中に使用されるデフォルトゾーンを定義することもできます。このゾーンは、アカウントの環境設定ページ（https://www.gandi.net/admin/preferences）から定義できます。

6.2.2 Webフォワーディング

GandiのDNSを顧客のドメインに使用すると、ドメインやサブドメインのWeb転送を簡単に設定できるWebインターフェイスにアクセスできます。

Web転送の詳細については、以下URLを参照してください。
http://wiki.gandi.net/en/domains/management/domain-as-website/forwarding

6.3 SSL証明書

新しいドメイン名がGandiアカウント（作成または転送）で管理されるたびに、無料のシングルドメインスタンダードSSL証明書を1年間無料で提供します。また、シングルドメイン、マルチドメイン、および/またはワイルドカード（複数のサブドメイン）として利用できる、さまざまなレベルの購入用SSL証明書も用意されています。

さまざまな説明と価格は以下URLでご覧いただけます。
https://www.gandi.net/ssl

これらの製品はAPIメソッドで完全に管理することができます。したがって、独自の顧客に提供するポータルに統合することができます。

参照
http://doc.rpc.gandi.net/cert/index.html

6.4 Gandiホスティング

Gandi APIを使用すると、ホスティングオプション全てを管理できますが、Gandiホスティングの再販は特定の場合でのみサポートされます。ホスティングの再販は、リセラー自身が実

行しているGandiのVPSシステムの作成と顧客の利用のためにリセラーが管理するアカウントでの設定に限定されます。

リセラーはホスティングクレジットを使いGandiのVPSの代金を支払う必要があります。このことは、リセラーはホスティングの代金支払いと顧客へのアクセスを管理する責任を負うことを意味します。

Gandi Cloud VPSサーバーは、root権限を持つ強力なシステムであるため、実際の制限以外に、顧客のホスティングアカウントの数やサイズ、提供できるサービスについては、使用可能なソフトウェアや作成するGandi VPSシステムの最大サイズ制限以外に実際には技術的制限はありません。

完全な機能を備えたホスティングシステムを構築、管理、自動拡張して、顧客のニーズに対応することができます。

参照
https://www.gandi.net/hosting/iaas

以下を含む、Gandiアカウントにアクセスして使用できる他のホスティングサービスは再販できません。

- シンプルホスティング
- Gandi ブログ
- Gandi ウェブサイト
- サイトメーカー

前述したように、ドメインを使用する場合は電子メールを提供することができ、SSL証明書とGandi Cloud VPSを再販することができます。